

マタハラ裁判勝利和解に続け

皆様いつもご支援ありがとうございます。梅雨も明けぬまま、猛暑の日が続く中、九州地方では、水害、地震と災害が続いています。（7月上旬寄稿）

突然の災害のような整理解雇から6年あまり。長い時間が経つてしましましたが、実際のところあまり大きな進展はありません。最近で明るいニュースは、マタハラ裁判の勝利和解です。

この和解で希望者全員が産前地上勤務ができるようになります。これは、日本航空だけでなく他の航空会社にも今後広がっていくことが期待されます。

私たちの後輩、原告の神野知子さんのコメントを紹介します。

「裁判が始まつてからは、社内だけでなく全国から支援をいたきました。マタニティハラスメントという言葉は今では広く知られていますが、妊娠による

様々な不利益、差別などで辛いです。

思いをしながらも泣き寝入りするしかない人たちが世の中にはまだ大勢いることを知りました。日本全体からマタハラがなくなればよいと思っています。そしてマタハラを経験し辛い思いをしている人が少しでも元気になつてくださいと思つていて、

マタニティハラスメントを整理解雇、妊娠を労働組合に置き換えるべきだと思っています。これからも



私も応援します

”歩いて行こう 歩いて行こう 一步ずつ” こんなフレーズの歌がある。大熊啓さんの曲。テンポよく流れるうたにとても励まされる。

”急がなくてもいいんだ 焦らなくてもいいんだ” こんなふうに歌っていると、頑張りすぎる事が弱さであるように感じる。

だからといって、時々頑張ることをお休みするのも勇気がいる。これまた忍耐と辛抱。

もちろん、頑張り続けることは大切。継続は力なり。努力は裏切らない。全てにおいてそれがきっと強さに繋がるのだろうけど、休みながらほどほどに自分のペースで進みたいものだ。

うたごえと出会った頃、メッセージ性の強い歌に衝撃を受けた。仲間と共に歌っていくうち、想いが溢れ、人の心に寄り添い、時には力を奮い立たせる歌に、心震え胸が熱くなり、込み上げるものがあった。



うたごえピアノ伴奏者 山本克子

所属する働く仲間合唱団には、闘う仲間もたくさんいる。練習に行けば、世の中では遠く感じられる問題や疑問、仲間が今も尚、闘っている現実に毎回自分自身が直面し、その存在を改めて近く感じる。

「No rain No rainbow」

雨が降らなければ虹は出ない。悪い事が起こつてもその後には必ず良い事がある。そんな言葉の例え。とても大好きな言葉の1つだ。たとえ、今が試練の時でも、苦しい時でも、必ず太陽が昇り虹が出る。

うたは闘いと共に。一步ずつ進む事がきっと新しい明日へつながる。

伊方町出身 一宮斉子

成功させよう

9.9 JAL争議早期解決をめざす うたごえと学習の集い



日時：9月9日(土) 13:00～15:00

会場：松山市民会館小ホール

<プログラム>

ミニコンサート

JAL争議団フェニックス合唱団

講演

山口宏弥争議団長

争議団からの訴え



横断幕を前に、勢ぞろいした参加者

参加者のみなさん
ありがとうございましたJAL松山支店へ要請する
争議団と支える会

5.24 松山空港前宣伝

みんなの参加で
元気の出る行動となりました

うたごえの皆さん
ありがとうございました